

## きざしとまなざし公募展 2024 年 10 月 31 日～11 月 13 日／来場者 782 人

公募した作品全作品 172 点を展示しました。事前審査にて、表現のきざしとそれに寄り添うまなざしをテーマに審査を行い、きざしとまなざし賞 1 点、山形県知事賞 1 点、審査員賞 5 点、入選 20 点を選出し、作品の背景を語るまなざしコメント、審査員のまなざしコメントも掲示しました。また、開催期間中に来場者が選ぶオーディエンス賞 1 点選出しました。



### アンケート 自由記述(一部)

- ・それぞれの作品がその方がみている景色なんだなと思いました。様々な表現があつてとても良いです。
- ・たまたま立ち寄りしました。普段の生活で見ている景色や感じられる表現の違いに目を惹きつけられました。普段はあまり芸術という文化に触れる機会がないのですがとても良い展覧会に出会えたと思いました。
- ・作品や、その作者さんの背景も知ることができて、とってもやさしい気持ちになれました。立ち寄ってよかったです。「好き」がテーマの作品が多いのも素敵でした。
- ・作品を作られた方もそれを見守られた方も、よく「見ているな」という印象がありました。見ているようで見逃していることは日常生活の中にたくさんあるなと気づかされました。
- ・説明文(キャプション)を見て気づかされることが多くありました。
- ・展示方法が作品により工夫されていて、作品の良さが引き出されていると感じました。
- ・作品づくりのコーナーもあってよかったです。

### オーディエンス賞／作品名：「ファンタジーワールド」 作家名：齊藤 諒

#### 来場者のまなざしコメント

- ・共生のすばらしい平和な世界を表現したようで拍手です。ほっこり心豊かになりました。
- ・ひとつひとつ丁寧に、明るい色彩でたのしかったです。
- ・細かく描かれていて、楽しいかわいい。



### やまがたのきざしとまなざし 2024

前年度の県内公募展の入賞作家から 4 名をピックアップして、作品と共に、表現する人の制作背景、寄りそう人の言葉、審査員コメント、ポートレートなどを展示しました。寄りひとが感じていることや何を大切にして、表現する人との関係性を作っているのかなど、言葉や川柳にしてもらいました。



11月4日7日8日9日10日12日／おめでとう＆相談 day／参加者：19人

予約制で、審査員から賞状お渡ししたり、相談したり、日頃の表現活動についてゆっくりお話しできる場を作りました。



11月7日、11日／ギャラリートーク／参加者：12人(7日)、6人(12日)

ゲストの審査員のまなざしコメントを聞きながら作品を鑑賞しました。審査員からは作品を選んだ視点やどなところに着かれたか等のお話があり、参加した作家は祝福を受けて、あたたかい言葉が行き交う場でした。その様子は後日 YouTube で配信し、来場できない方にも広く発信しました。



### ワークショップ●「らららな世界をひろげよう」

シールやスポンジなどで好きな形を作って壁を楽しく変身させましょう！という体験型企画のコーナー。展覧会を觀に来た子どもから大人まで壁を飾ってくれました。近隣の保育園の子どもたちも連日遊んでくれました。



### コラボレーション企画①●山形東高校探求科×デイサポートたんぽぽ工房

1日限定ワークショップ「はじめまして！アートで楽しくつながろう」／参加者41名

東高校生が福祉事業所のみなさんと交流しながら考えたワークショップ。カードに絵や文字を描いて参加者同士絵を交換して、さらに付け加えて描いてもらうリレー方式で交流してもらいました。



### コラボレーション企画②●東北芸術工科大学総合美術コース×児童デイサービス月のひかり

作品展示「ひとつの居場所に、ひとりひとりそのまんま」

児童デイサービス「月のひかり」に学生が訪問し、子供たちと関わり合いながら制作した作品を展示しました。学生たちが子ども達から感じた「みんなそれぞれが他人に合わせず自分らしさを全開に！」を表現しました。それぞれの色や形が集まり、ダイナミックであたたかい空間ができました。

